

オバマ新政権の外交政策上の課題

講演者：

カルロス・パスカル大使
ブルッキングス研究所副所長
同外交政策研究部部長

日時：

6月17日(水曜日),
12:00時-2:00時.

会場：

The Fairmont Hotel
2401 M Street
Washington, DC 20037

参加料：一人当たり

商工会会員：\$40.00
非会員：\$50.00

チェックの宛先：

Japan Commerce Association
of Washington, D.C.

締切日：

左の申込書と一緒に6月12日までに
次の住所にお送りください。

申込み用紙・チェックの送付先：

Annemarie Pender
American Honda Motor Co., Inc.
1001 G Street, NW #950
Washington, DC 20001

Phone: 202.661.4400

Fax: 202.661.4459

annemarie_pender@ahm.honda.com

なお誠に勝手ながら、締切日以降のキャンセルや当日御欠席の場合、参加費の払い戻しは致しかねますので御了承下さい。



カルロス・パスカル大使の略歴

今回はブルッキングス研究所副所長兼外交政策研究部部長を務めるパスカル大使にオバマ政権の外交政策上の課題について語っていただく。同氏は23年間米国政府のキャリアー外交官として、国務省、国家安全保障委員会(NSA)、米国国債開発局などで要職を歴任し、2006年にブルッキングス研

究所に入る。パスカル大使が代表を務めるブルッキングス研究所外交政策研究部は、世界の主要国国際関係、国際紛争、国際平和、テロリズムなど国境を越えて国の安全を脅かす脅威、米国および国際機関の時代の要請にあった改革案、などについて研究を積重ね、具体的な政策案を政府や国際機関に提言する。

ブルッキングス研究所には、外交政策を研究する部門として、中国研究部、北東アジア研究部、中東研究部、欧州部の四つがある。パスカル大使はこれらの研究部を束ね外交政策を包括的に研究する。パスカル大使をリーダーとして、同研究所は21世紀における平和プロジェクト、“Managing Global Insecurity: American Leadership, International Institutions, and the Search for Peace in the 21st Century.”と題するプロジェクトに取り組む。同プロジェクトは2009年から開始する国連の改革案作りのための研究材料、国際的な支援基盤となるネットワークをアメリカの大統領および世界の指導者層に提示することを目指す。

最終学歴

M.P.P, Kennedy School of Government, Harvard University, 1982;
B.A., Stanford University, 1980

**JCAW Seminar with Ambassador Carlos Pascual
Registration Form**

Date: _____

Participants: _____

Organization: _____

Total Amount enclosed: _____